

8月7日～10日までの4日間、市内各中学校の生徒8名が、平和学習で被爆地である長崎市を訪れました。

長崎では、原爆資料館の見学、平和案内人の説明のもと被爆遺構を巡り、原爆の悲惨さを学んだほか、青少年ピースフォーラムでは、全国の青少年と「平和のために自分ができること」をテーマに、積極的に意見を交わしました。また、平和祈念式典へも参列し、原爆被疑者の冥福と世界恒久平和を祈りました。

学習報告会では、生徒それぞれが平和への想い、平和学習で学んだことについて発表しました。

生徒たちは、11月22日に開催される「宜野湾市戦後70年平和祈念事業」に出演し、長崎で学んだこと、平和への想いを発表します。



## 被爆地・長崎での平和学習を報告



学習報告会



被爆体験者講話



青少年ピースフォーラム



交流会



平和祈念式典

## 第24回ぎのわんの文化財図画作品展 表彰式

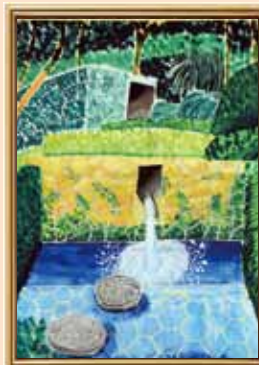


宜野湾市の文化財を描いた「第24回ぎのわんの文化財図画作品」の表彰式が10月3日（土）、市立博物館で行われました。今年は、市内在住の小学校3～6年生、中学生の作品193点の応募があり、10月18日まで市立博物館にて作品の展示を行いました。

教育長賞  
受賞作品



「察度王歴史絵巻」  
仲地 輝（普天間小3年）



「森の川」  
川畑 和瑚（大山小5年）



「森の川のわき水」  
宮城 桃奈（真志喜中3年）